

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	65.0%	自校A B層の割合	60.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主研究を積極的に行い、ICTを使った授業改善の取組みを行う。 ・ 教科担任制による専門性の高い授業の実施（3～6年生） ・ 学び方を教えるの理念のもとに、「主体的・対話的で深い学び」となるような授業改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字強化週間を年3回行い、当該学年の漢字の定着を図る。 ・ 東京ベーシックドリルの診断テストを年6回実施する。また、毎週水曜日の朝学習で、ベーシックドリルの問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習は、宿題（教員から出す課題）と自主学習を合わせたものとし、低学年は、宿題中心、高学年は、自主学習中心となるよう段階的に学習習慣の確立を図る。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「まるぐランド」等のICT学習を効果的に行い、発達特性に合ったICT学習を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後補習事業者と連携して、C～D層の児童の学力定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主学習では特に、ドリルパークを活用し、間違った問題に繰り返し取り組ませる。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【児童アンケート】 授業で積極的にタブレットを活用している肯定的回答割合90%以上 ・ 【児童アンケート】 教科担任による授業は分かりやすい肯定的回答割合90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末実施の東京ベーシックドリルの診断テスト正答率85%達成者90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【児童アンケート】 家庭学習時間が学年×10+10分を超えている回答割合90%以上